

青森県経済統計報告

令和 4 年 1 月 4 日
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（令和 3 年 12 月 1 日現在） 1

県 人 口 1,219,220 人（対前月 1,095 人減少）	
自然動態	1,066 人減少（出生者数 515 人、 死亡者数 1,581 人）
社会動態	29 人減少（転入者数 1,039 人、 転出者数 1,068 人）

2 本県の経済動向（令和 3 年 10 月・11 月の経済指標を中心として）

（1）経済概況

本県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている。	
---	--

（2）主要経済指標の動向

(2-1)	生産動向	・令和 3 年 10 月の 青森県鉱工業生産指数 （平成 27 年＝100）は、季節調整済指数が 103.3 で、前月比 2.5%の上昇となり、4 カ月ぶりで前月を上回った。また、原指数は 109.5 で、前年同月比 0.3%の上昇となり、2 カ月ぶりで前年同月を上回った。	...	2
(2-2)	雇用労働	・令和 3 年 10 月の 定期給与 は 227,227 円で前年同月比 1.3%増となった。 総実労働時間 は 152.2 時間で前年同月比 1.5%減、 所定外労働時間 は 9.2 時間で前年同月比 10.7%減となった。 ・令和 3 年 11 月の 有効求人倍率 （季節調整値）は 1.14 倍で、前月を 0.02 ポイント上回り、8 カ月連続で 1 倍を上回った。	...	3
(2-3)	物 価	令和 3 年 11 月の 青森市消費者物価指数 （令和 2 年＝100）は、総合指数が 100.7 となり、前月比 0.3%の上昇、前年同月比 0.9%の上昇となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 99.0 となり、前月比 0.1%の下落、前年同月比 1.3%の下落となった。	...	5
(2-4)	個人消費	・令和 3 年 11 月の 百貨店・スーパー販売額 は、144 億円で全店舗ベースが前年同月比 2.8%減となり、2 カ月ぶりに前年同月を下回った。また、既存店ベースでは前年同月比 3.9%減となり、2 カ月ぶりに前年同月を下回った。 ・令和 3 年 11 月の軽乗用車を含めた 乗用車新車登録・届出台数 は 3,034 台で、前年同月比 13.7%減となり、6 カ月連続で前年同月を下回った。 ・令和 3 年 11 月の主な観光施設の 観光入込客数 は、54 万 4 千人で前年同月比 4.5%増となり、3 カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設の 宿泊者数 は、17 万 4 千人で前年同月比 2.4%増となり、3 カ月ぶりに前年同月を上回った。	...	6
(2-5)	建 設	・令和 3 年 11 月の 新設住宅着工戸数 は 559 戸で、前年同月比 1.9%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。 ・令和 3 年 11 月の 公共工事請負金額 は 64 億 8,900 万円で前年同月比 8.2%増となり、3 カ月ぶりに前年同月を上回った。	...	8
(2-6)	企業倒産	令和 3 年 11 月の 企業倒産 は、件数は 5 件で前年同月比 150%増となった。負債総額は 6 億 4,100 万円で前年同月比 330.2%増となった。	...	8

（3）景気動向指数 C I（令和 3 年 10 月分） 9

先行指数	118.1（前月を 10.5 ポイント下回り、4 カ月連続で下降した）
一致指数	85.0（前月を 2.3 ポイント上回り、2 カ月連続で上昇した）
遅行指数	100.2（前月を 3.3 ポイント上回り、3 カ月連続で上昇した）

1 青森県の推計人口（令和3年12月1日現在）

【概 況】

令和3年12月1日現在の本県推計人口は、1, 219, 220人で、前月に比べ1, 095人の減少となった。

○自然動態

出生者数が515人、死亡者数が1, 581人で、1, 066人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1, 039人、転出者数が1, 068人で、29人の減少となった。

総人口の推移

（単位：人）

	総数	男	女	対前月 増減率	増減数	自然 増減数	出生者数	死亡者数	社会 増減数	県外からの 転入者数	県外への 転出者数
昭 45.10. 1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10. 1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10. 1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10. 1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平 2.10. 1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10. 1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10. 1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10. 1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10. 1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
27.10. 1	1,308,265	614,694	693,571	-	-65,074	-	-	-	-	-	-
令2. 10. 1	1,237,984	583,402	654,582	-	-70,281	-	-	-	-	-	-
令2. 12. 1	1,235,999	582,500	653,499	-0.091%	-1,124	-1,057	536	1,593	-67	926	993
令3. 1. 1	1,234,922	581,990	652,932	-0.087%	-1,077	-1,054	513	1,567	-23	1,008	1,031
令3. 2. 1	1,233,612	581,319	652,293	-0.106%	-1,310	-1,294	487	1,781	-16	1,027	1,043
令3. 3. 1	1,232,303	580,617	651,686	-0.106%	-1,309	-1,084	453	1,537	-225	1,023	1,248
令3. 4. 1	1,226,704	577,732	648,972	-0.454%	-5,599	-1,080	584	1,664	-4,519	3,583	8,102
令3. 5. 1	1,226,052	577,551	648,501	-0.053%	-652	-928	604	1,532	276	2,861	2,585
令3. 6. 1	1,224,781	576,924	647,857	-0.104%	-1,271	-1,010	540	1,550	-261	884	1,145
令3. 7. 1	1,223,717	576,436	647,281	-0.087%	-1,064	-900	546	1,446	-164	1,015	1,179
令3. 8. 1	1,222,949	576,212	646,737	-0.063%	-768	-910	554	1,464	142	1,460	1,318
令3. 9. 1	1,222,051	575,775	646,276	-0.073%	-898	-963	621	1,584	65	1,322	1,257
令3. 10. 1	1,221,305	575,531	645,774	-0.061%	-746	-958	564	1,522	212	1,423	1,211
令3. 11. 1	1,220,315	575,169	645,146	-0.081%	-990	-958	550	1,508	-32	1,167	1,199
令3. 12. 1	1,219,220	574,659	644,561	-0.090%	-1,095	-1,066	515	1,581	-29	1,039	1,068

1 11月中の人口動態の推移

（単位：人）

年月		H23.11	24.11	25.11	26.11	27.11	28.11	29.11	30.11	R元.11	2.11	3.11
自然 動態	出生者数	793	750	732	657	745	711	649	659	575	536	515
	死亡者数	1,365	1,440	1,445	1,386	1,503	1,513	1,442	1,503	1,561	1,593	1,581
	自然増減数	-572	-690	-713	-729	-758	-802	-793	-844	-986	-1,057	-1,066
社会 動態	県外からの 転入者数	1,154	1,158	1,066	931	1,057	1,002	974	1,094	1,074	926	1,039
	県外への 転出者数	1,202	1,147	1,206	1,003	1,131	1,118	1,044	1,130	986	993	1,068
	社会増減数	-48	11	-140	-72	-74	-116	-70	-36	88	-67	-29
増減数計		-620	-679	-853	-801	-832	-918	-863	-880	-898	-1,124	-1,095

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27、令和2年は国勢調査人口（確定値）。

※2 令和2年11月1日以降の人口は、令和2年国勢調査人口（確定値 総務省統計局 令和3年11月30日）を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27、令和2年が各々の前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

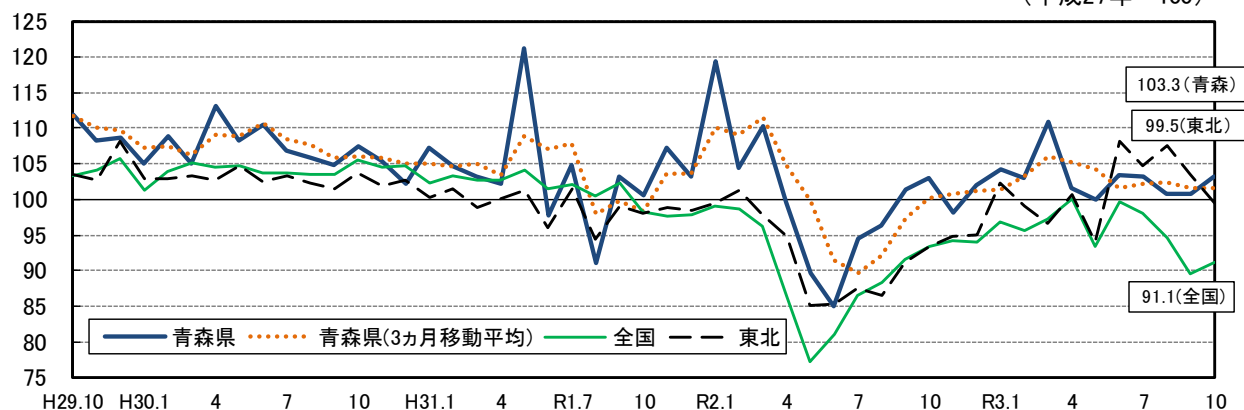
(2-1) 生産動向

令和3年10月の青森県鉱工業生産指数(平成27年=100)は、季節調整済指数が103.3で、前月比2.5%の上昇となり、4カ月ぶりで前月を上回った。また、原指数は109.5で、前年同月比0.3%の上昇となり、2カ月ぶりで前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、生産用機械工業、非鉄金属工業、家具工業等が上昇に寄与した一方、金属製品工業、電子部品・デバイス工業、業務用機械工業等が低下し、鉱工業全体では2.5%の上昇となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移（季節調整済指数）

(平成27年=100)



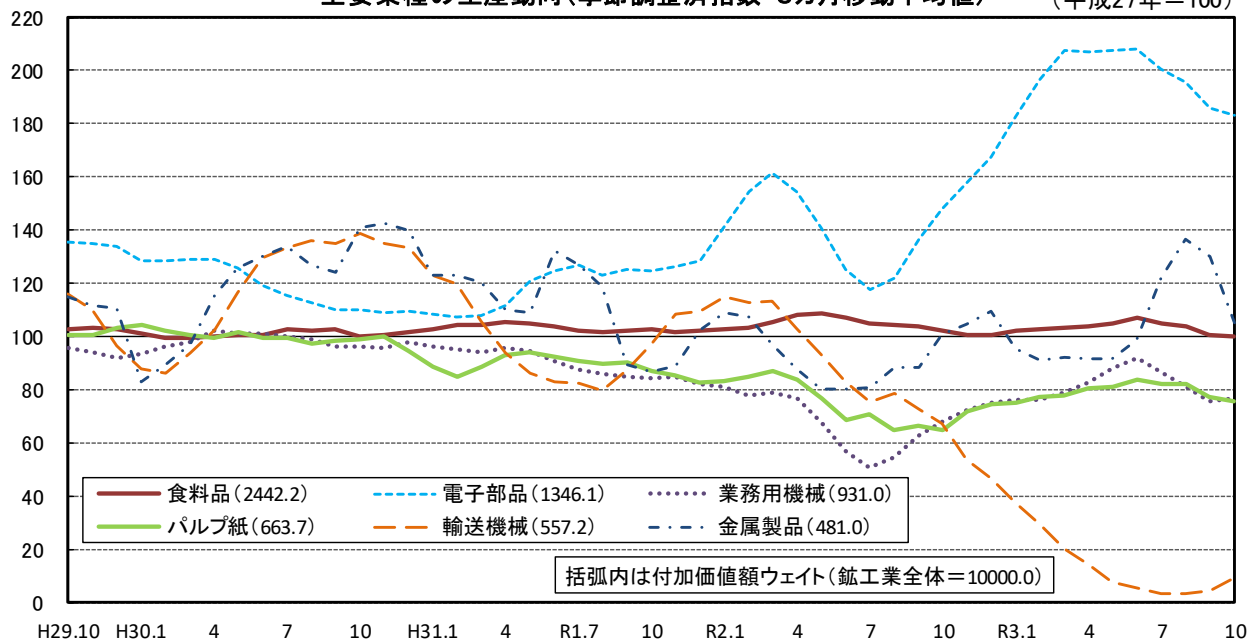
◎業種別動向（前月比） 鉱工業全体 2.5%

プ ラ ス			マ イ ナ ス		
業 種	前月比(%)	寄与率(%)	業 種	前月比(%)	寄与率(%)
生産用機械工業	105.4	129.2	金属製品工業	-46.0	-56.0
非鉄金属工業	37.7	23.5	電子部品・デバイス工業	-5.1	-27.9
家具工業	50.2	13.3	業務用機械工業	-6.8	-11.6
輸送機械工業	119.2	11.7	電気機械工業	-3.4	-4.4
化学工業	18.6	11.6	木材・木製品工業	-12.5	-3.5

※寄与率とは、総合指数の上昇(低下)に対する、業種ごとの影響度を構成比で示したものであり、ポイント差とウェイトとの総合的な大きさで決まる。

主要業種の生産動向(季節調整済指数・3ヵ月移動平均値)

(平成27年=100)



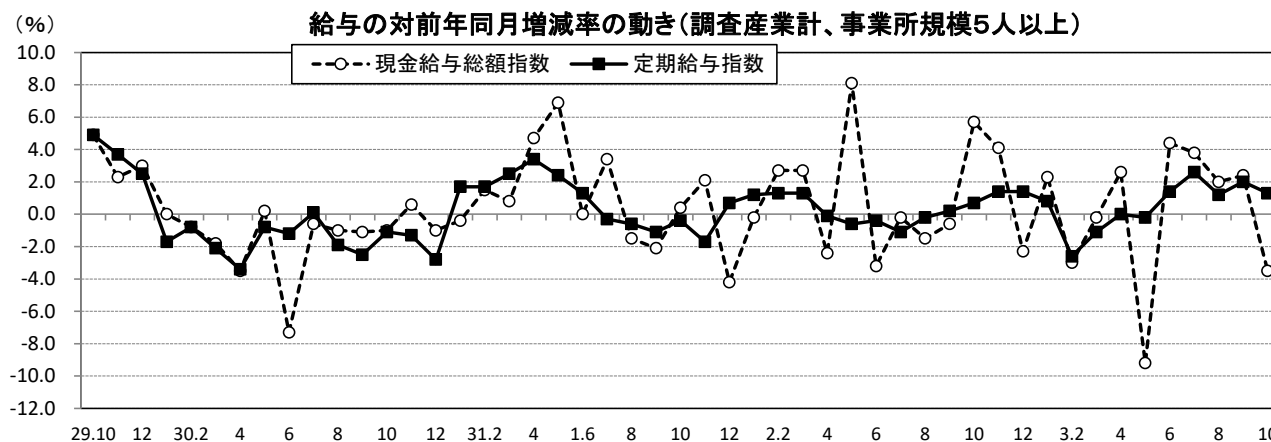
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用労働

(2-2-1) 給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）

令和3年10月の定期給与は227,227円で、定期給与指数（平成27年＝100）では105.2となり、前年同月比1.3%増と5カ月連続の増（現金給与総額230,187円、現金給与総額指数91.8、前年同月比3.5%減）となった。また、実額で比較した定期給与の全国対比は85.8となった。

総実労働時間は152.2時間で、総実労働時間指数は98.4となり、前年同月比1.5%減と2カ月連続の減となった。このうち、所定外労働時間は9.2時間で、所定外労働時間指数は80.0となり、前年同月比10.7%減と4カ月連続の減となった。



資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

給与及び労働時間の全国との比較(調査産業計、事業所規模5人以上)

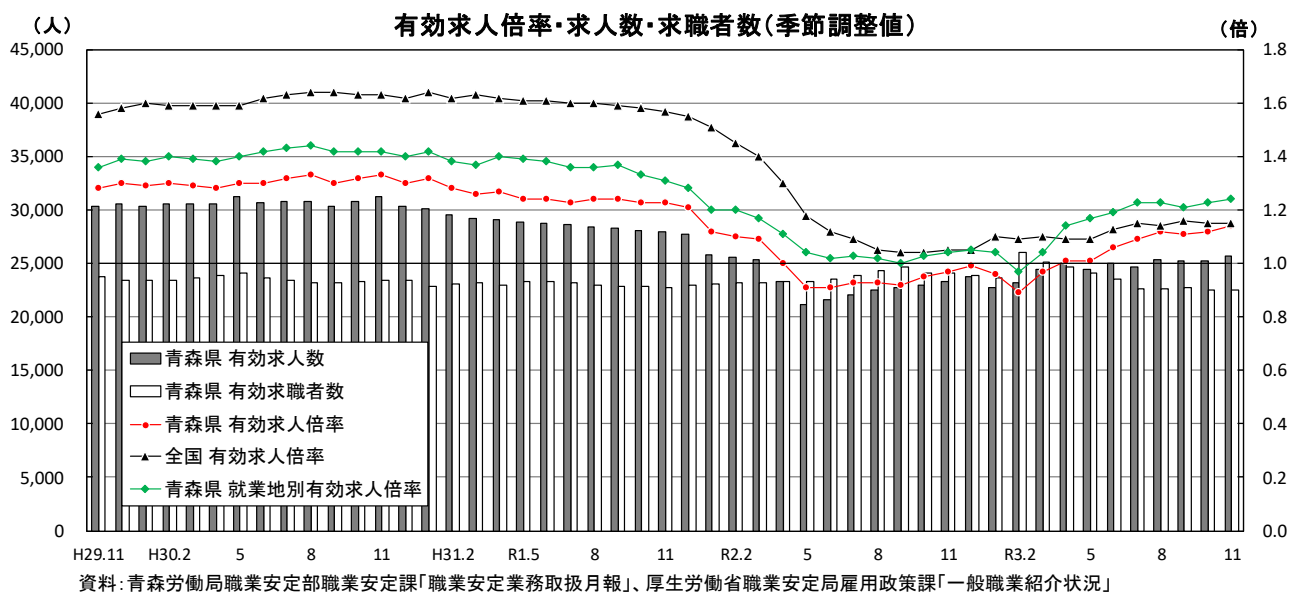
	実 数		指数(H27=100)		対前年同月増減率	
	青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国
現金給与総額	230,187 円	271,121 円	91.8	85.9	-3.5 %	0.2 %
定期給与	227,227 円	264,902 円	105.2	101.7	1.3 %	0.0 %
特別給与	2,960 円	6,219 円	—	—	—	15.1 %
総実労働時間	152.2 時間	138.5 時間	98.4	95.9	-1.5 %	-1.8 %
所定内労働時間	143.0 時間	128.7 時間	99.9	96.4	-0.9 %	-2.1 %
所定外労働時間	9.2 時間	9.8 時間	80.0	89.1	-10.7 %	2.1 %

- (注) 1. 「定期給与」とは、あらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される給与のことで、超過労働給与（所定の労働時間をこえる労働、休日労働、深夜労働に対して支給される給与）を含みます。
2. 「特別給与」とは、給与の差額追給額（ベースアップ分）、3か月をこえる期間単位で支給される住宅手当や通勤手当、賞与（ボーナス）等のことです。
3. 「所定内労働時間」とは、正規の始業時刻と終業時刻との間から休憩時間を差し引いた労働時間のことです。
4. 「所定外労働時間」とは、早出、残業、休日出勤等の労働時間のことです。
5. 全国の数値については、平成30年11月確報から、平成24年以降において東京都の「500人以上規模の事業所」についても再集計した値（再集計値）に変更しており、従来の公表値とは接続しないことにご注意ください。また令和元年6月分速報から「500人以上規模の事業所」について全数調査による値に変更していることにご注意ください。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

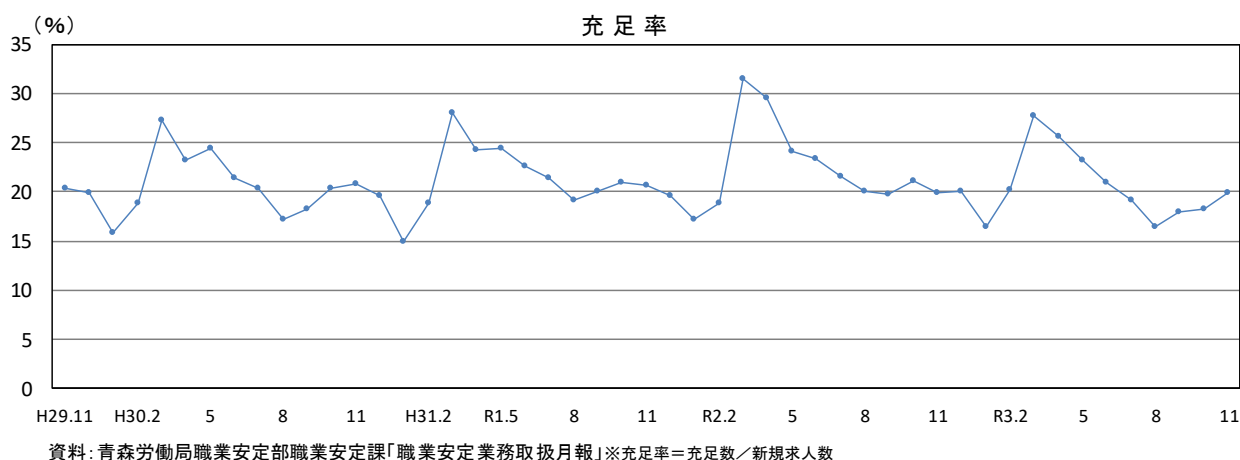
(2-2-2) 有効求人倍率

令和3年11月の有効求人倍率（季節調整値）は1.14倍で、前月を0.02ポイント上回り、8カ月連続で1倍を上回った。就業地別有効求人倍率は1.24倍で、前月を0.01ポイント上回った。



(参考) 充足率（新規学卒者を除きパートタイムを含む）

令和3年11月の充足率は19.9%で、前年同月と同水準となった。



(2-3) 物価

令和3年11月の青森市消費者物価指数(令和2年=100)は、総合指数が100.7となり、前月と比べ0.3%の上昇、前年同月と比べ0.9%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は100.8となり、前月と比べ0.4%の上昇、前年同月と比べ0.9%の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は99.0となり、前月と比べ0.1%の下落、前年同月と比べ1.3%の下落となった。

総合指数が前月と比べ0.3%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、交通・通信などの上昇が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ0.9%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、食料などの上昇が要因となっている。

図1 総合指数の動き

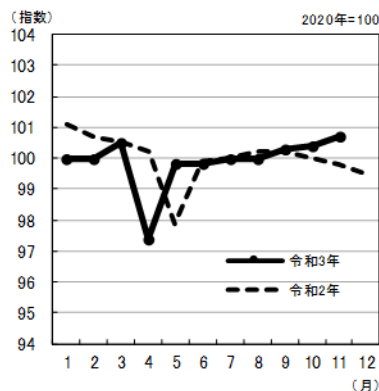


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

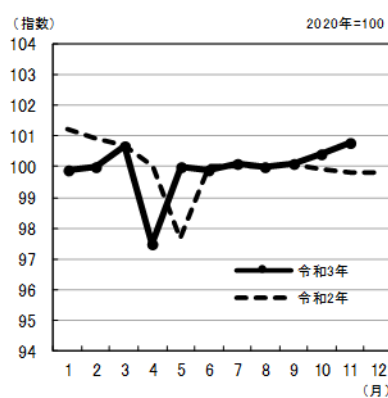
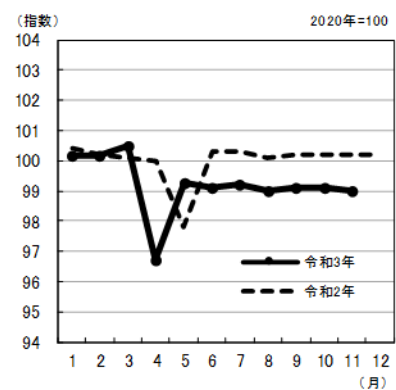


図3 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(2020年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料(生鮮食品を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家・具・被服	保健医療	健康	交通・通信	教育	娯楽	雑費
当月指数	100.7	100.8	99.0	98.2	100.9	99.0	100.5	113.1	101.6	99.6	99.4	92.2	99.1	100.1	101.8
前月比(%)	0.3	0.4	▲0.1	▲0.2	0.0	▲0.7	0.0	3.2	1.2	0.2	0.3	0.9	0.0	▲2.4	0.0
寄与度	—	0.36	▲0.11	▲0.14	0.00	▲0.03	0.00	0.35	0.05	0.01	0.01	0.12	0.00	▲0.20	0.00
前年同月比(%)	0.9	0.9	▲1.3	▲2.1	1.1	0.7	0.3	14.5	▲1.5	▲1.8	▲0.3	▲7.4	0.1	2.8	1.0
寄与度	—	0.90	▲1.09	▲1.37	0.31	0.03	0.07	1.43	▲0.06	▲0.06	▲0.01	▲1.02	0.00	0.22	0.06

資料: 県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ **寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比(%)の値に一致する。

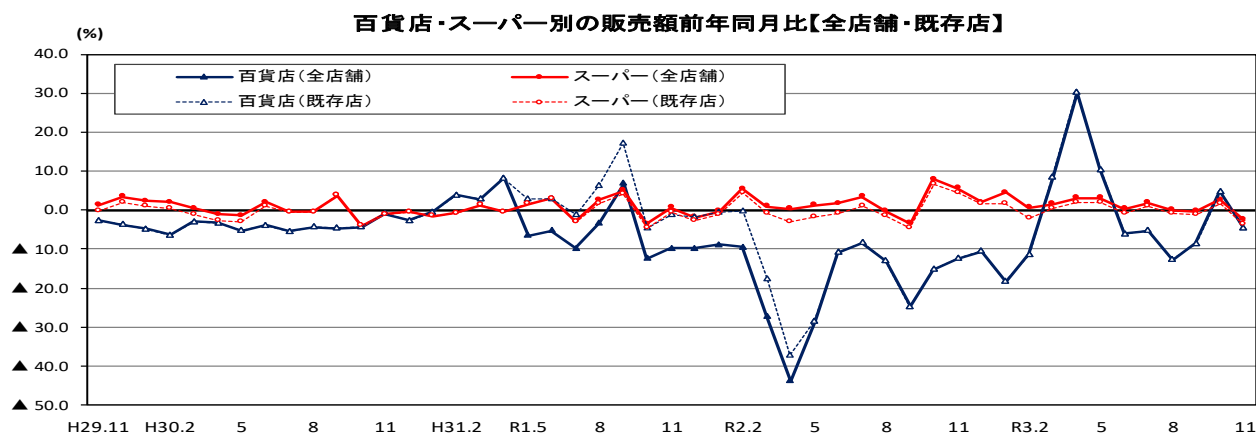
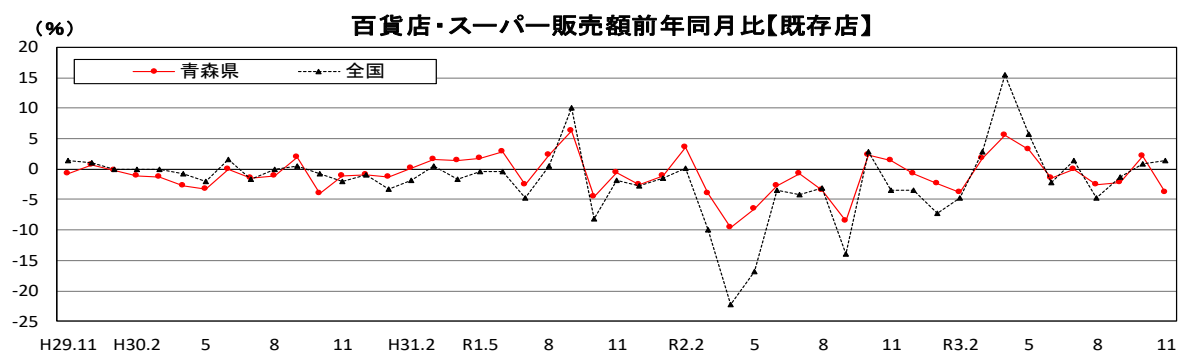
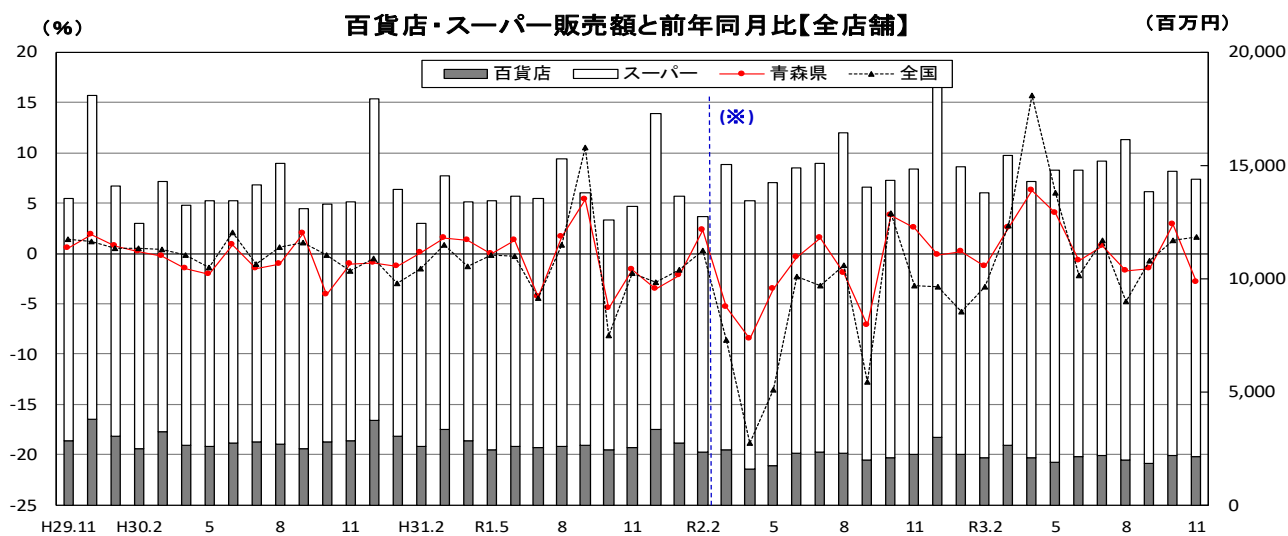
前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

(2-4) 個人消費

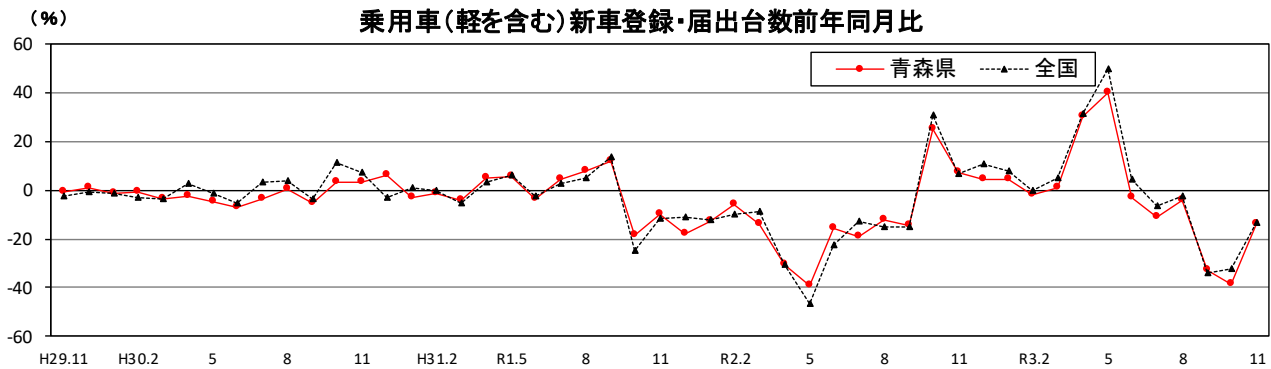
(2-4-1) 百貨店・スーパー販売額

令和3年11月の百貨店・スーパー販売額は、144億円で全店舗ベースが前年同月比2.8%減(前々年同月比0.4%減)となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。また、既存店ベースでは前年同月比3.9%減となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。



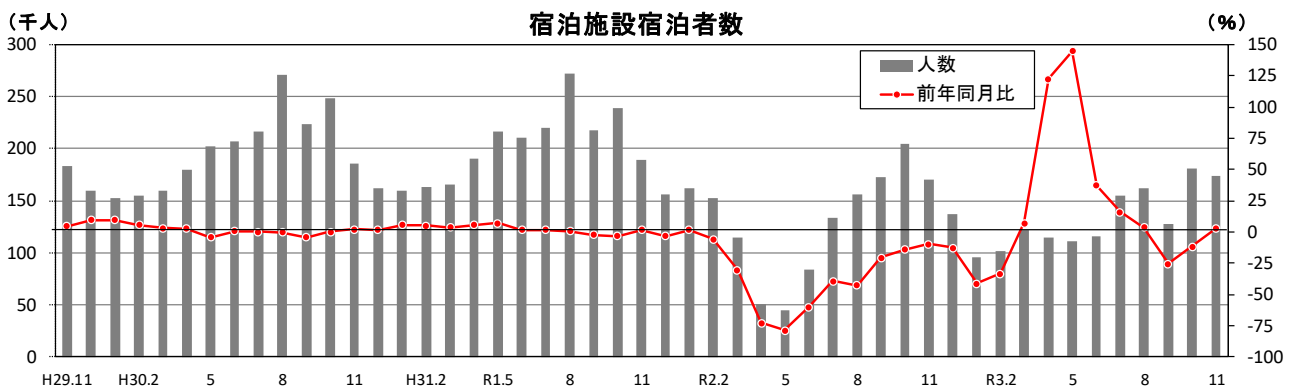
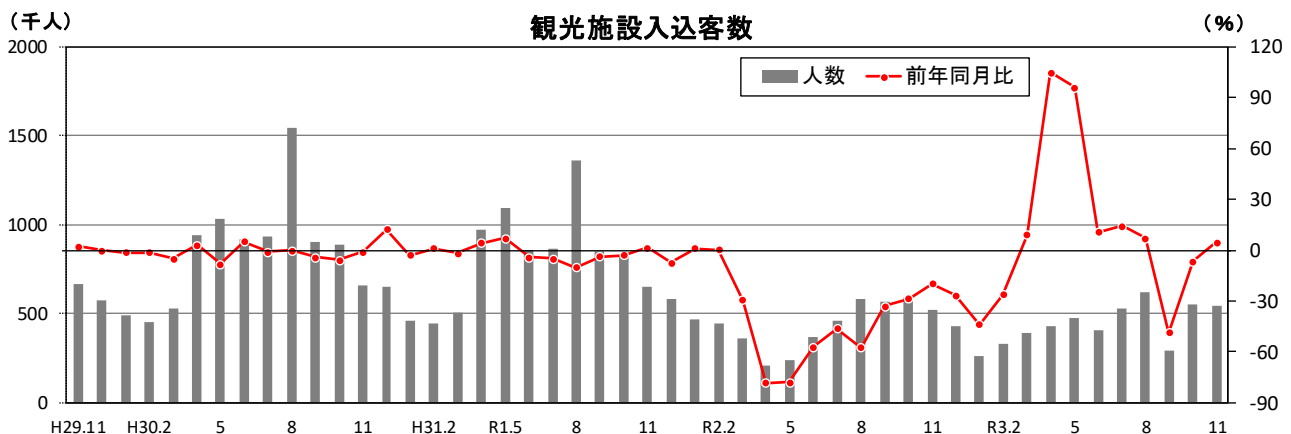
(2-4-2) 乗用車新車登録・届出台数

令和3年11月の軽乗用車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,034台で、普通車と軽乗用車が減少したことにより、前年同月比13.7%減(前々年同月比7.5%減)となり、6カ月連続で前年同月を下回った。



(2-4-3) 観光入込客数・宿泊者数

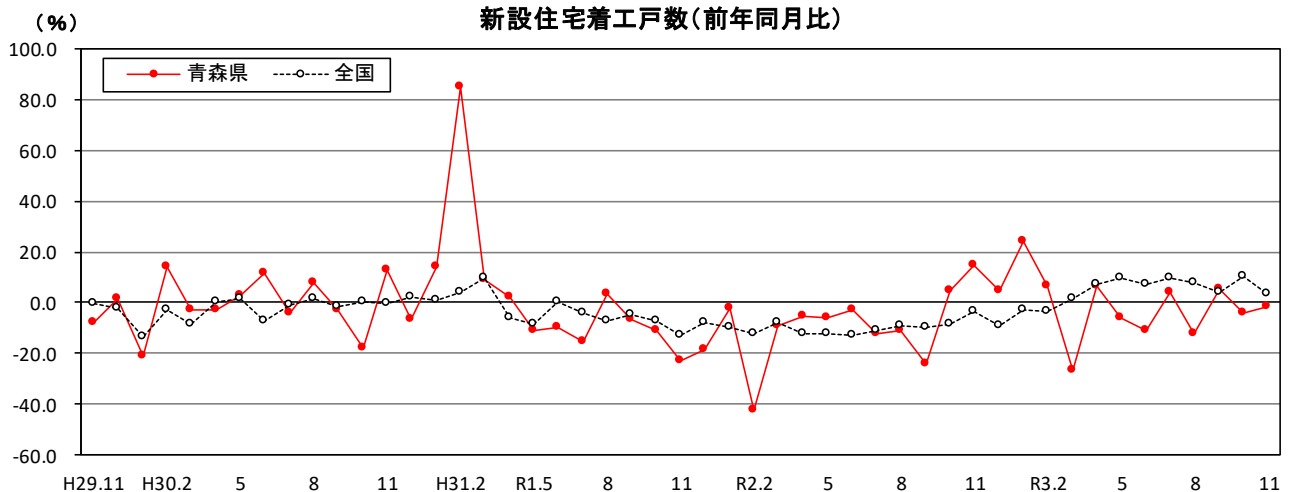
令和3年11月の主な観光施設の観光入込客数は、54万4千人で前年同月比4.5%増(前々年同月比16.2%減)となり、3カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設の宿泊者数は、17万4千人で前年同月比2.4%増(前々年同月比7.9%減)となり、3カ月ぶりに前年同月を上回り、いずれも前々年同月を下回っている。



(2-5) 建設

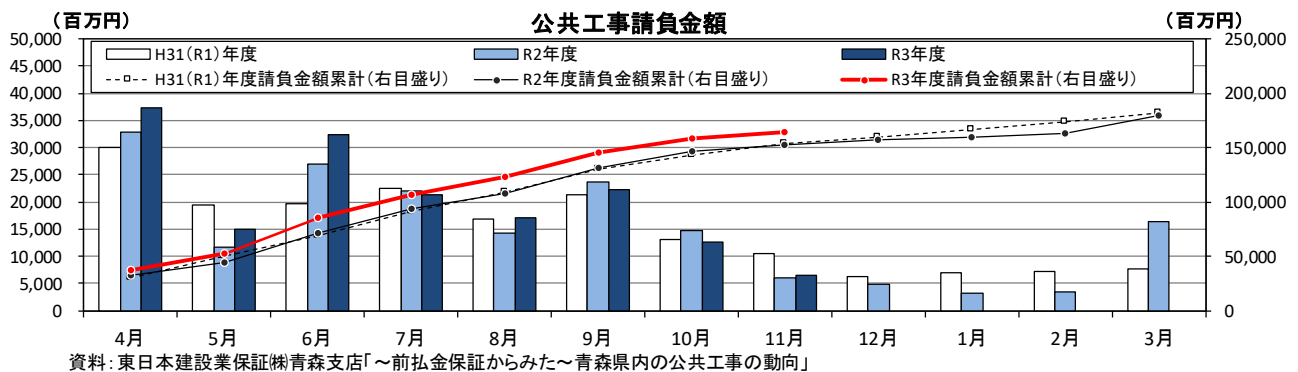
(2-5-1) 住宅建設

令和3年11月の新設住宅着工戸数は559戸で、前年同月比1.9%減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。主に分譲住宅が減少したことによる。



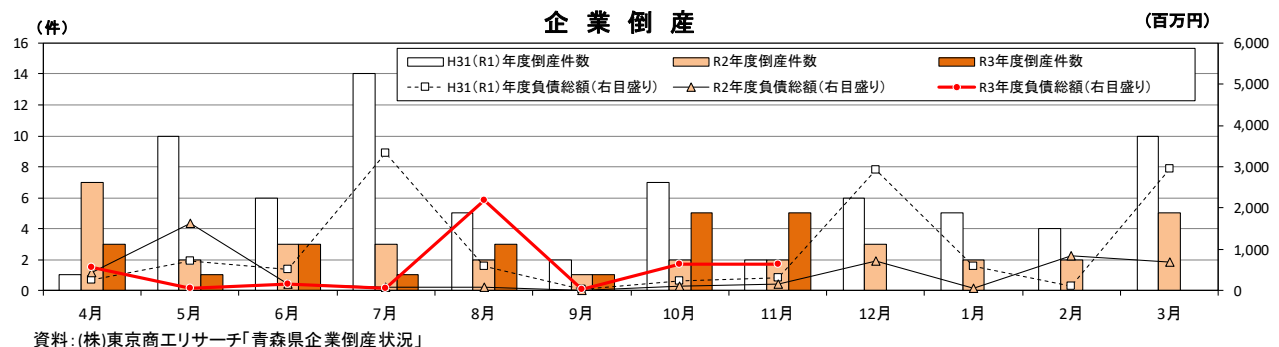
(2-5-2) 公共事業

令和3年11月の公共工事請負金額は64億8,900万円の前年同月比8.2%増となり、県の発注工事が増加したことにより3カ月ぶりに前年同月を上回った。また、令和3年11月までの累計金額は1,646億2,100万円の前年同月比8.3%増となった。



(2-6) 企業倒産

令和3年11月の企業倒産は、件数は5件で前年同月比150.0%増となった。負債総額は6億4,100万円の前年同月比330.2%増となった。



(3) 青森県景気動向指数

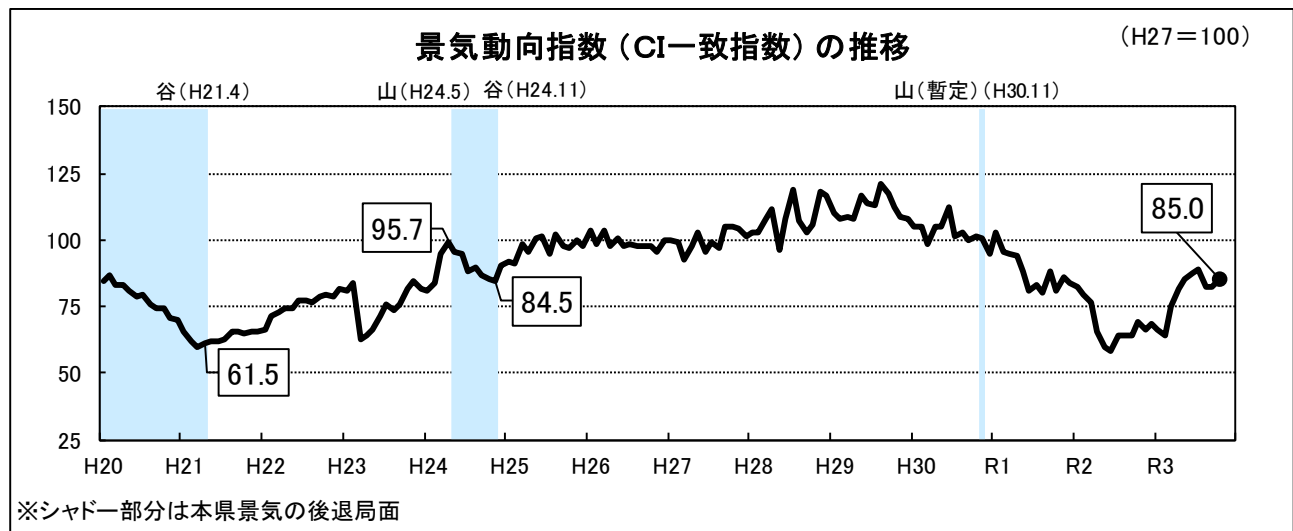
令和3年10月の青森県景気動向指数（C I）は、先行指数118.1、一致指数85.0、遅行指数100.2となった。

先行指数は、前月を10.5ポイント下回り、4カ月連続で下降した。

一致指数は、前月を2.3ポイント上回り、2カ月連続で上昇した。

遅行指数は、前月を3.3ポイント上回り、3カ月連続で上昇した。

10月の一致指数は、消費、生産、雇用関連の指標がプラスになったことから上昇した。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています）

●個別系列の動き（各指標は半期調査等を行い、寄与度を前月と比較しています）

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
先行系列					
日経商品指数（42種）	1.86	2カ月連続	新規求人倍率（全数）	-7.49	3カ月ぶり
中小企業景況DI	1.79	4カ月ぶり	企業倒産件数（逆サイクル）	-4.21	6カ月連続
建築着工床面積	1.08	2カ月連続	乗用車新車登録届出台数	-1.49	2カ月連続
			生産財生産指数	-1.47	2カ月連続
			新設住宅着工床面積	-0.67	2カ月ぶり
一致系列					
百貨店・スーパー販売額（既存店）	1.66	2カ月連続	所定外労働時間指数（全産業）	-0.44	3カ月連続
投資財生産指数	0.87	2カ月連続	輸入通関実績（八戸港）	-0.25	2カ月ぶり
有効求人倍率（全数）	0.60	2カ月ぶり	鉱工業生産指数	-0.13	2カ月ぶり
			旅行取扱高	-0.07	5カ月連続
遅行系列					
りんご消費地市場価格	2.64	3カ月連続	常用雇用指数（全産業）	-1.31	2カ月ぶり
家計消費支出（勤労者世帯：実質）	0.91	2カ月ぶり	公共工事請負金額	-0.30	2カ月連続
青森市消費者物価指数（総合）	0.67	2カ月連続			
県内金融機関貸出残高	0.40	5カ月ぶり			
有効求職者数（全数）（逆サイクル）	0.24	8カ月連続			
（参考）青森県景気動向指数（DI） <div> 先行指数 37.5% （15カ月ぶりに50%を下回った） 一致指数 66.7% （14カ月連続で50%を上回った） 遅行指数 28.6% （2カ月ぶりに50%を下回った） </div>					

※一致系列「旅行取扱高」の令和3年10月分の値は未公表のため、一致指数は暫定値。